

令和3年度「原子力人材育成ネットワーク」シンポジウム
令和4年2月15日（火）14:00～17:30
オンライン
新井運営委員長 ご挨拶

本日は、ご多忙中にも関わらず、令和3年度の原子力人材育成ネットワーク・シンポジウムへご参加いただきまして、誠にありがとうございます。開会にあたり、運営委員長として一言ご挨拶申し上げます。

本シンポジウムは、昨年度までネットワーク「報告会」と題しておりましたが、もっと踏み込んだ議論ベースの会議にしていきたいという思いから、今年度よりネットワーク「シンポジウム」へと名称を変更しました。

2020年で原子力人材育成ネットワークは活動開始から10周年を迎え、今年度より新たな10年に入りました。

本日のシンポジウムでは、今までに取り組んできた活動の成果や課題についてのご報告と、原子力産業界のグローバル化、および原子力分野の学びの機会拡大についてのパネルディスカッションを行っていただくこととしております。

本日のプログラムについて簡単にご紹介申し上げます。

まず、原子力人材育成ネットワークと戦略WG（ワーキンググループ）のこの1年の活動について、報告させていただきます。

人材育成ネットワークでは、2014年に10年後の人材育成のあるべき姿に向け、ロードマップを作成、公表いたしました。本ネットワークの5つの各分科会では、ロードマップに沿い、人材育成が着実に推進されるよう活動を行っております。ただしロードマップ策定から年月が経ちましたので、現在改訂・アップデートを検討しています。本日はこちらの検討状況についても報告させていただきます。また人材育成戦略の策定には、国との継続的な意見交換と協力が欠かせません。引き続き、国のご理解とご協力をお願いしたいと思います。

続きまして、戦略ワーキンググループ主査の日立製作所 原子力ビジネスユニット 原子力事業統括本部 事業主管 吉村真人様を座長に迎えて「みんなで考えようロードマップ～原子力産業の持続可能な発展～」をテーマにパネルディスカッションを行います。

ディスカッションの前半では、「原子力産業界のグローバル化」、後半では「原子力分野の学びの機会拡大」について議論します。パネリストには、前半のテーマが、吉村様、日立GEニュークリア・エナジー 原子力国際技術本部 ウィルミントンリエゾンオフィス シニアディレクター&ジェネラルマネージャ 吉江 豊様、原子力人材育成ネットワーク 事務局 日本原子力産業協会 人材育成 喜多 智彦、原子力人材育成ネットワーク 事務局 原子力国際協力センター長 鳥羽 晃夫、の各氏が登壇します。

後半では、原子力人材育成ネットワーク 初等中等教育支援分科会 主査 長崎大学 教育学部 教授 藤本 登様、原子力人材育成ネットワーク 高等教育分科会 主査 大阪大学 工学研究科 環境エネルギー工学専攻 教授 北田 孝典様、原子力人材育成ネットワーク 実務段階人材育成分科会 主査 四国電力 原子力本部 原子力保安研修所 所長 池田 和豊様、原子力人材育成ネットワーク 高等教育分科会 委員 富山高等専門学校 電気制御システム工学科 教授 高田 英治様、原子力人材育成ネットワーク 事務局長 日本原子力研究開発機構 原子力人材育成センター長 加藤 浩様を迎え、意見交換を行います。会場からのご意見も大歓迎ですので、参加者全員で考えていきたいと思えます。

本日のシンポジウムは、オンラインでの開催ではありますが、国内外の人材育成関係者が集う貴重な意見交換・情報共有の場でもございます。原子力産業界が抱える課題解決に向けて、共通の思いを新にいただき、一層ネットワークの輪を広げ、今後の参加機関個々の、また機関横断的な活動の成果が一層実り多いものとなるよう祈念します。

今後も皆様のネットワーク活動へのより積極的なご参加を期待いたしまして開会の挨拶とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

以上